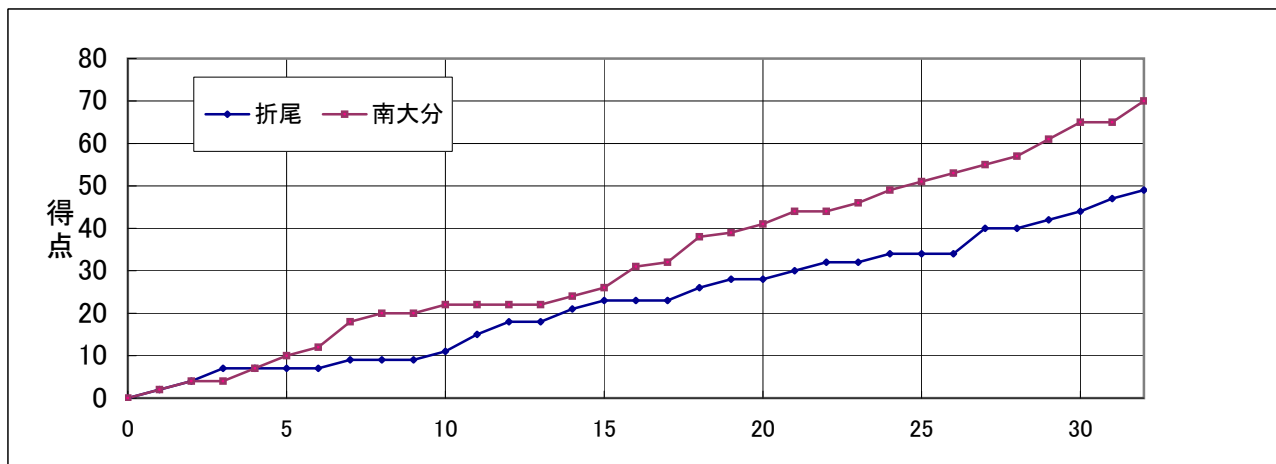


大会名	平成21年度 第30回全九州中学生 バスケットボール春季選手権大会	D6	16:10	女子2回戦															
		折尾 49 (福岡2位) ●	<table border="1"> <tr><td>9</td><td>—</td><td>20</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>11</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>21</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	9	—	20	14	—	11	11	—	18	15	—	21	—	—	—	70 南大分 ○ (大分1位)
				9	—	20													
14	—	11																	
11	—	18																	
15	—	21																	
—	—	—																	
期日	2010年(平成22年)3月13日(土)																		
会場	コンパルホール		主審 井元 誠 副審 田崎 貴洋																



1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
06:01	13:25	28:32	29:00	—	—

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	高田 茉悠	—	—	—	—	—
5	池田 まどか	3	1	0	0	3
6	* 武 愛実 (C)	8	0	4	0	5
7	谷 口 莉穂	0	0	0	0	2
8	* 高木 伽奈	21	0	10	1	4
9	* 川本 あいみ	0	0	0	0	5
10	植松 真帆	2	0	1	0	3
11	* 松尾 優華	12	4	0	0	3
12	日高 由貴	0	0	0	0	1
13	酒井 さよこ	3	0	1	1	1
14	池田 真梨子	—	—	—	—	—
15	友成 紗代子	0	0	0	0	1
16	小笠原 伶那	—	—	—	—	—
17	小田原 真美	—	—	—	—	—
18	石川 詩織	—	—	—	—	—
コーチ	永井 種雄	/	/	/	/	/
合計		49	5	16	2	28

1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
07:11	—	22:51	—	—	—

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 足立 結唯 (C)	16	1	2	9	1
5	* 後藤 優	26	1	8	7	1
6	* 毛利 葉月	16	0	7	2	2
7	* 井上 春佳	10	0	3	4	4
8	平 迫 蒼	—	—	—	—	—
9	近藤 有紗	—	—	—	—	—
10	瀬山 楓	—	—	—	—	—
11	吉田 真弓	—	—	—	—	—
12	後藤 優飛	—	—	—	—	—
13	* 芳山 愛実	2	0	1	0	3
14	児玉 樹里	—	—	—	—	—
15	藤 柴 愛	—	—	—	—	—
16	下高 美咲	—	—	—	—	—
17	八尋 加那子	—	—	—	—	—
18						
コーチ	瀬山 英則	/	/	/	/	/
合計		70	2	21	22	11

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

1Q、折尾#8高木のタップを#11松尾がキープして試合開始。折尾#8高木が先制のシュート。お互いにハーフマンツーマンで守る。南大分は#5後藤がバスケットカウントや3Pを決めるなどして応戦。攻めあぐねていた折尾が7-12とリードされた残り2分でタイムアウト。折尾#8高木、南大分#7井上のポストプレーからの攻め合いが続く。折尾はチームファウルが5つ越え、苦しい展開のまま試合が進み、20-9と南大分がリードして1Q終了。

2Q、南大分#4足立のシュートで試合が動き出す。折尾は#6武のパスカットからの速攻、#11松尾の3Pなどで4点差まで詰め寄る。南大分は各選手が1on1をしかけるが得点につながらず、南大分がタイムアウト。しかし、タイムアウト後も折尾の勢いは止まらず、残り1分40秒で1点差とする。だが、最後は南大分の#6毛利のシュートなどで突き放し、31-23と南大分8点のリードで前半を折り返す。

3Q開始早々、南大分が連続得点し流れを掴む。しかも、わずか1分30秒で折尾#9川本が#7で退場し苦しい展開に。そんな中、折尾は#8高木を中心に粘り強く戦い、#10植松のシュートなどで応戦。南大分は、残り1分で14点差をつけたが、#7井上が4つ目のファウルをした時点でタイムアウトをとる。南大分が49-34とリードを広げて終了。

4Q、折尾はハーフの2-3ぎみのゾーンに切り替えるが、南大分は徹底してハーフマンツーマンで守る。折尾は#5池田、#11松尾などの3Pで点差を縮めようとするが、南大分は#7井上中心に攻め、着実に点を重ねていく。しかも残り3分30秒で折尾の#6武が#7で退場し、勢いが南大分に。折尾もオールコートマンツーマンをしかけるなどして最後まであきらめず戦ったが、70-49で南大分が勝利を収めた。

© 2010 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.0063

記載者 片桐、西村 (所属) 大分県バスケットボール協会